

東京都政策連携団体経営改革プラン2023年度改訂版について

1 概要

- 「経営改革プラン」は、政策連携団体が、経営改革に資する取組をまとめた3か年計画
- 今年度は計画期間（2021年度から2023年度）の最終年度にあたり、その後の進捗状況や、都の施策の内容、外部環境の変化等を踏まえ、政策連携団体は目標や年次計画等の見直しを実施
- 都では、見直し後の内容を「経営改革プラン2023年度改訂版」として取りまとめ

2 プラン2023年度改訂版の内容

- 団体別に、基礎情報、財務情報、改訂のポイント及び以下2つの経営目標を記載

(1) 団体の経営課題を踏まえた経営目標

- 以下の4つの視点を重視し、各団体がプランを改訂
 - ① 都の重要政策や施策・計画等を着実に踏まえた事業の推進
 - ② コロナによる収支影響を踏まえた団体事業の安定化
 - ③ 専門性等を基とした、都への積極的な政策・企画提案の実施
 - ④ デジタル技術の活用等による、事業のスピードアップ・事業効果の向上
- 各団体ごとに経営課題解決に向けた複数の「戦略」を設定
- それぞれの戦略における、戦略の性質や難易度、4つの視点の対応状況について、以下の区分設定を実施
 - ① 戦略の性質：難易度が高く、意欲的な戦略は「経営改革目標」として区分
 - ② 改定の視点：4つの視点を踏まえて改訂した戦略は、その内容に応じて区分を設定
- 戦略ごとに「戦略を設定する理由・背景」「団体における現状（課題）」「課題解決の手段」「3年後（2023年度）の到達目標」「2022年11月末実績」「2023年度計画」等について記載

(2) 全団体に取り組むべき共通の経営目標等

- 全団体の手続のデジタル化を一層加速するため、「シン・トセイ3」における都の取組と概ね同水準となるよう2023年度末の目標を設定
- 「未来の東京戦略 version up 2023」に掲げる「分野横断で重点的に取り組む項目」について、団体の専門分野に応じた2023年度末までの取組を設定

3 今後の取組

引き続き、団体の自律的な経営改革を促進するとともに、経営目標の達成状況等の情報公開を徹底していく